

令和6年2月2日



広報資料

問い合わせ先

広尾海上保安署
次長 志田 隆幸
TEL 01558-2-0118

海上保安学校学生採用試験（特別）及び 海上保安官採用試験の実施について

海を舞台に夢は広がる～海上保安官募集～

海上保安庁では、令和6年10月期入学の海上保安学校学生及び、令和7年4月期採用の海上保安官（大卒者）の採用試験を行います。受験申込みはインターネットで受け付けます。なお、受験料はかかりません。

1 採用試験の日程等

		海上保安学校学生採用試験(特別)	海上保安官採用試験※大卒者対象
受付期間	インターネット	2月22日(木)9:00～3月11日(月)受信有効	2月22日(木)9:00～3月25日(月)受信有効
第1次試験日		5月12日(日)※5月31日(金)合格発表	5月26日(日)※6月26日(水)合格発表
試験地(道内抜粋)		札幌市・函館市・小樽市・旭川市・釧路市	札幌市
第2次試験日		6月5日(水)～6月26日(水)	7月9日(火)～7月17日(水)
試験地(道内抜粋)		小樽市	
最終合格発表		7月26日(金)	8月13日(火)
受験資格		2024(令和6)年4月1日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して13年を経過していない者 など	1994(平成6)年4月2日以降に生まれた者で ①大学(短期大学を除く。以下同じ。)を卒業した者 ②2025年(令和7)年3月までに大学を卒業する見込みの者 など
採用予定数		船舶運航システム課程：約245名	約30名
		※採用予定数は変動することがあります。	
採用予定日		令和6年10月	令和7年4月

2 採用後について

(1) 海上保安学校学生採用試験（特別）

海上保安学校（京都府舞鶴市）に入学し、必要な学術技能を習得するとともに、心身の錬成を図り、実践的な授業から海上保安の現場業務に即応できる能力を身につけます。

卒業後は各分野のエキスパート海上保安官として北海道等の地域で巡視船や航空機に乗り組み、海難救助や海上犯罪取締まりなどの業務のほ

か、船舶運航、機関運転、調理、航空機整備などに従事します。

教育期間は、1年です。

(2) 海上保安官採用試験

海上保安大学校（広島県呉市）において、複雑・国際化する海上保安業務に対応するために必要な高度な専門能力を身につけるとともに航海士・機関士として巡視船運航に必要な海技資格を取得するための専門知識を習得します。

研修終了後は、巡視船初級幹部、本庁・管区本部等の陸上勤務など、幅広い職種等を経験しながら幹部職員となります。

教育期間は、初任科2年、専攻科6ヶ月及び研修科国際業務課程3ヶ月の合計2年9ヶ月です。

海上保安学校及び海上保安大学校とも入学金、授業料はもちろん、全寮制なので宿舍費や光熱水料も不要です。

また、入学（採用）と同時に国家公務員としての身分が与えられ、海上保安学校学生採用試験の採用者は毎月約15万円、海上保安官採用試験の採用者は毎月約18万円の給与が支給されるほか、いわゆるボーナスが年2回支給、国土交通省共済組合員として各種福利厚生が受けられます。

3 問い合わせ先

海上保安庁の業務及び海上保安学校、海上保安大学校の詳細は、

[海上保安庁ホームページ](https://www.kaiho.mlit.go.jp/)

(<https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/>)

をご覧ください。



また、第一管区海上保安本部では毎月18日を「海保を知る日 in 北海道」と題し、オンライン受験説明会を開催しております。

申し込みは、

[海上保安庁オンライン説明申込](https://japan-coast-guard.snar.jp/index.aspx)

(<https://japan-coast-guard.snar.jp/index.aspx>)

※「第一管区」実施分を選んでください



4 試験申込先

本試験の申し込みは次のサイトからお申し込みください

[人事院国家公務員試験採用情報 NAVI](https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html)

(<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>)

